

環境NPO/NGOの課題 横断的な連携強化を通じた 社会的影響力の向上

つづける助成

2年目

知識の提供・普及啓発

市民版
環境白書の発刊 **1,000冊**

地域で交流会・
学習会への参加者 **212人**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **50%**



環境省での意見交換会(車座)風景

活動内容と成果

●環境問題を横断的なテーマで網羅した「市民版環境白書2018年版」を発刊した ●グリーン連合の認知度向上を目指し、地域でのワークショップや講演を骨子とした交流会を福岡市、新潟市、大阪市の3箇所で開催した ●環境問題の背景にある現経済体制の問題点等に関する知見を高めるための勉強会を開催した。(6月:河川真理子/大和総研主任研究員、2月:粟生木千佳/地球環境戦略研究機関[IGES]) ●政策決定に関わるステークホルダーとの意見交換会を開催した。(環境省、国会議員・ジャーナリスト、地球環境基金)



地域交流会(大阪)でのワークショップ風景

課題

環境NPO/NGO全体として政府、自治体、経済界、マスメディア、国際社会、国民への社会的影響力が弱い。

目標

- ① グリーン連合への加盟団体数が増加する
- ② 政策決定関係者との定期的な協議の場が増加する



今後の
展望

地域交流会や勉強会では、昨今話題となっているテーマ(例:プラスチック問題)を取り上げたり、企業担当も一緒に参加、話し合える場として、SDGsの講演、ワークショップなどを盛り込みたい。

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

①環境省との意見公開会で開催頻度の点で合意に苦勞した ②地域交流会参加団体を当会加盟へ勧誘しきれなかった

■工夫した点

前年のパリ協定を踏まえ、地域交流会では気候変動課題の対策の一つと考えられているカーボンプライシングを集中的に取り上げた。

| 活動地域 |  日本全域

〒101-0041
東京都千代田区神田須田町2-2-5
CTNビル3F
(特非)地球と未来の環境基金 内
電話: 03-5298-6644
E-mail: contact@greenrengo.jp
<https://greenrengo.jp/>

